

## 一部文書による同意が得られない包括同意に基づく研究一覧

研究許可番号	研究責任者	所属	研究課題名	研究期間	試料等の採取期間
第 0104 号	長谷川博雅	口腔病理学	口腔扁平苔癬の診断に関する臨床的・病理学的研究	2010/3/1～2015/3/31	2005/4/1～2009/12/31

### 内容

口腔扁平苔癬は比較的多い口腔粘膜の難治性疾患であるが、この病態の詳細は未だ不明である。口腔扁平苔癬および類縁疾患の臨床病態と病理組織を網羅的に解析し、診断基準のガイドライン作製を目的とした研究で、日本口腔粘膜学会および日本臨床口腔病理学会合同の委員会(OLP 委員会という)による全国規模の研究である。この臨床研究は、2009 年 12 月 31 日までに病理学的検査が終了した既存試料を用いる。保存されている試料の中から選定された口腔扁平苔癬またはその類似疾患の症例を OLP 委員会に提出する。OLP 委員は病理標本を観察する。その後、病理標本の所見と臨床症状などとの関連性を分析する。なお、この 4 年間の研究には松本歯科大学病院に来院した患者様の検査材料は用いられていません。

研究許可番号	研究責任者	所属	研究課題名	研究期間	試料等の採取期間
第 0123 号	落合隆永	口腔病理学	唾液腺疾患の発症メカニズムの解明	2010/12/1～2015/3/31	1996/1/1～2010/10/30

### 内容

唾液腺病変は、多彩な病理組織像を持つ病変です。これらの唾液腺病変の発生は、複雑であり、全てが解明されていません。近年、生物の発生段階で上皮の間葉組織への変異について様々なことが解明され、正常唾液腺においても、ある種の細胞の発生に関与することも解ってきました。本研究は、多彩な組織像を示す唾液腺病変の発症機構の解明と唾液腺病変に関する様々な危険因子の同定を目指すことを目的とするものです。本研究により得られる成果は、唾液腺病変の発生メカニズムの解明に役立ち診断や治療に寄与する可能性が期待される研究です。

研究許可番号	研究責任者	所属	研究課題名	研究期間	試料等の採取期間
第 0127 号	落合隆永	口腔病理学	境界悪性病変の分子生物学的な病態解明	2011/1/1～2015/3/31	2004/1/1～2010/11/30

### 内容

本研究では遺伝子を検索し①境界悪性病変の分子レベルでの病態把握、②補助的な診断法の確立を目的として行います。既に確定診断の得られた検体から遺伝子を抽出・解析し、口腔粘膜病変における遺伝子発現を検討します。これにより形態病理学のみでなく分子病理学的に病変の全容を解明し、定性的あるいは定量的な診断基準を策定し、客観的な診断法を確立することが期待される研究です。

研究許可番号	研究責任者	所属	研究課題名	研究期間	試料等の採取期間
第 0166 号	落合隆永	口腔病理学	顎骨病変における神経内分泌細胞の局在	2012/8/1～2017/3/31	1995/1/1～2012/6/30

### 内容

顎骨に発生する病変の中には、発生に複数の由来を持つ疾患が存在します。本研究では、外胚葉性間葉組織が顎骨病変においてどのような役割を持つか検討します。これにより、顎骨部に発生する病変の分子レベルでの病態把握と遺伝子発現に基づく補助的な診断方法の確立を目的とします。

これらの研究において、ご不明な点等ございましたら下記にお問い合わせ下さい。なお、ご自身の提供された試料等について利用を拒否されたい場合には研究期間開始後 1 ヶ月以内にご連絡下さい。

### お問い合わせ先:

松本歯科大学 口腔病理学講座  
〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原 1780  
電話 0263-51-2093